

はあ〜っ

おいしかったわ
ティータ!

ごちそうさま
でしたっ

そこにある、空
楽時たらひ

本当?
ありがとう
お姉ちゃん

お姉ちゃんたちが
リベールを発つ前に
食べてみてほしくて

ありがとうー

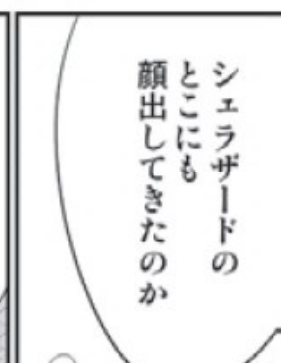
てゆうか
アガットも
いるとは
思わなかったわ
どうして
ティータんちに
いたの?

るっせ

…つうか



レンを探し出して
家族にするために
リベールを出る





…だめよ
ホラ

起きちやう



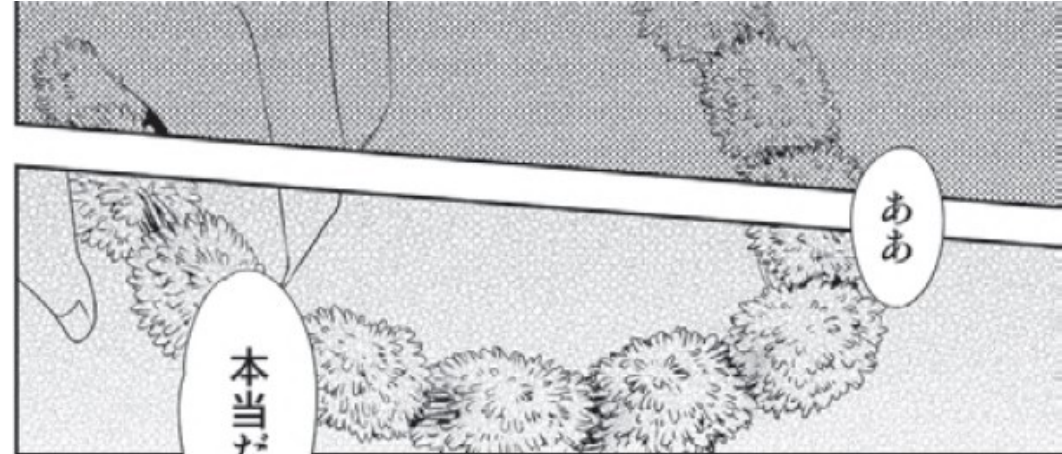
……なあに



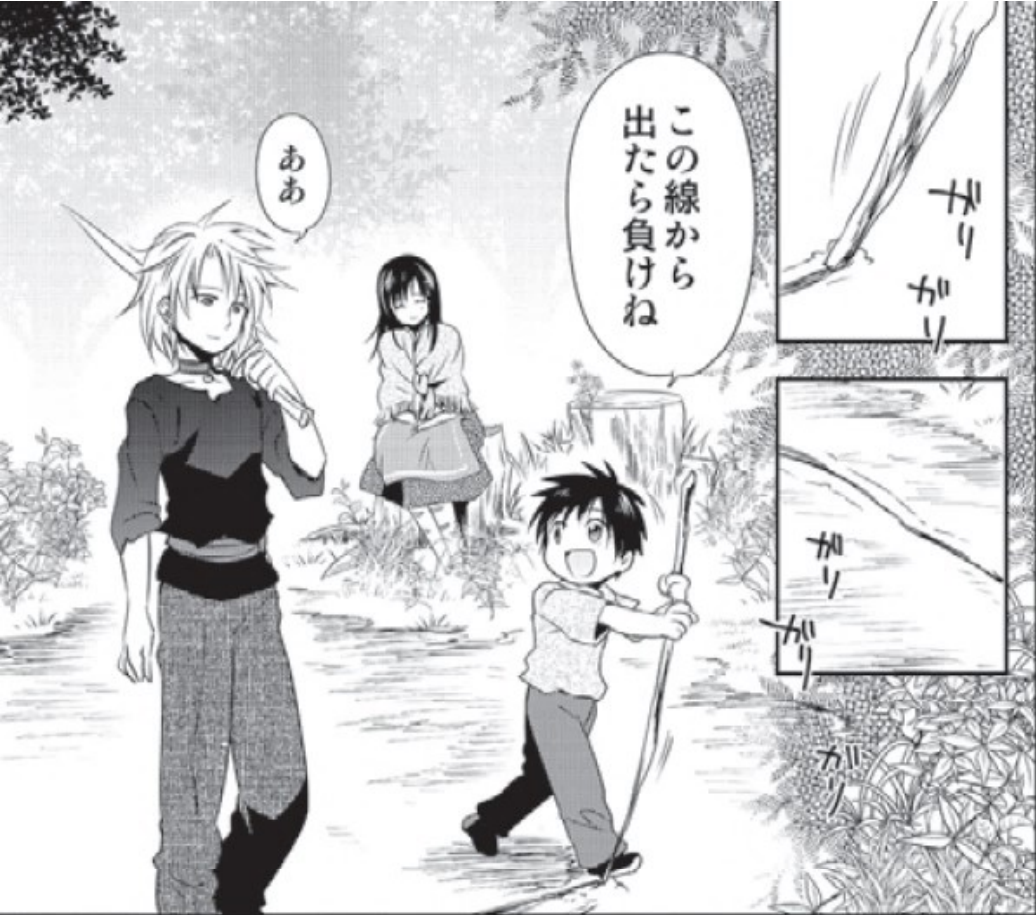
アガットが
心配してくれる
なんて愛なの！

なっ
心配なんて
してねえよ

アガットさん
顔が真っ赤
ですよーっ



おはよう





ありがとな
ヨシユア



守ってくれて ありがとう



レーヴェは
だいじょうぶ!?
急に
転んじやいそう
になったから
ぼくっ…



レーヴェに
負けるの
やだったけど

レーヴェが
怪我しちゃう
方がもっと
やだよ…



ヨシユアは
優しいな



うん…

二人とも
大丈夫?



……ビックリ
したよお

レーヴェも
ありがとう

僕と姉さんを

守ってくれて



うん

幸せだった日々

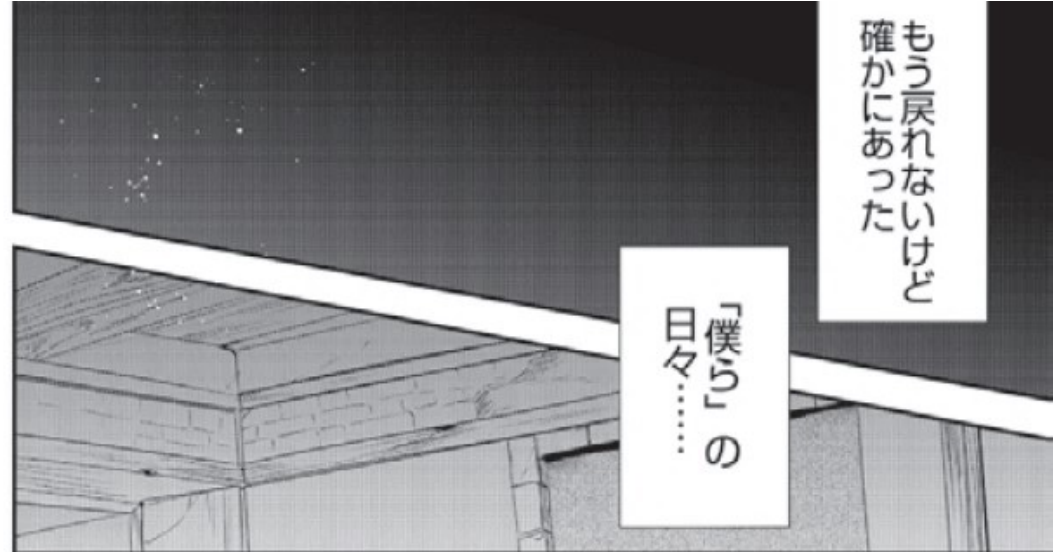


僕はもう

大丈夫だよ

もう戻れないけど
確かにあった

「僕ら」の
日々……



ご飯のあとすぐ
寝ちゃったのよ

そっか……



エステル

外の空気
吸いに行かない？



リベールの空を
見るのも
あと少しね

しっかり
目に焼き付け
とかないと





あの頃の
僕と空の間には
いつも

レーヴと
姉さんがいた



今の僕と
空の間には

何もない

けれど...

ヨシユア



空は
どこから見ても
同じ空だよ

それは
そうだけど
さあ〜



幸せだった
あの日々

次この国に
帰ってきた時には

一回りも二回りも
大きくなった
あたし達を

みんなに見せて
あげないとね

僕にはエステルがいる

だから僕はもう大丈夫だよ—— レーヴェ

心配してくれて
ありがとね
アガット

僕のそばには

……うん



ヨシユアも…
あたしももう

離れないって
決めたから

だからもう

大丈夫！



…心配なんて
いらなかったな



なにがです？

いや……
なんでもない

Fin